

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第1回上尾市産業振興会議
開 催 日 時	令和6年5月15日(水) 10:00~12:00
開 催 場 所	上尾市プラザ22 第2会議室
議長(委員長・会長)氏名	河藤 佳彦
出席者(委員)氏名	河藤 佳彦、飯田 裕之、石川 泰正、松本 猛、池上 卓郎、 田中 宏幸、安藤 由美、松本 弘子、松村 稔、吉澤 ひろ子 井上 克典、高野 正則、幸物 正晃、坂田 直人、藤田 悟 〈オブザーバー〉 栗原 邦夫
欠席者(委員)氏名	大木 保司
事務局(庶務担当)	環境経済部次長 田中 商工課長 小川、商工課副主幹 今村、商工課主査 加藤、 商工課主事 三浦 農政課長 東、農政課主幹 互井
会 議 事 項	1 開 会 2 委嘱式 (1) 委嘱状の交付 (2) 市長あいさつ (3) 委員自己紹介 (4) 会長及び副会長の選出 3 議 題 (1) 令和6年度提言(案)と令和7年施策の検討について (2) 今後のスケジュールと協議事項について (3) その他 4 閉会
会 議 資 料	別紙のとおり

議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和6年 9月 6日

会長の署名 河藤 佳彦

議事録署名人 松本 猛

議 事 の 経 過

事務局	<p>1 開 会</p> <p>定刻になりましたので、「令和6年度第1回上尾市産業振興会議」を開会いたします。</p> <p>本日の司会を務めさせていただきます、上尾市商工課長の小川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の進行につきましては、お配りいたしました次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>2 委嘱式</p> <p>それでは、次第の2「委嘱式」に入ります。</p> <p>(会場移動)</p> <p>早速ではございますが、委嘱状の交付を行います。委嘱状は畠山市長より交付させていただきます。なお、大木委員におかれましては、本日、所用により欠席とのご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。</p> <p>前列の河藤佳彦様より座席順にお名前をお呼びしますので、呼ばれましたら演題の前までお進みください。</p> <p>(委嘱状の交付)</p> <p>ご協力、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、これから令和8年3月31日までの間、本市の産業振興についてお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、畠山市長より挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>(市長挨拶)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で委嘱式、委嘱状の交付を終了いたします。</p> <p>恐れ入りますが、市長は公務の都合により、ここで退席となります。</p> <p>(市長退席)</p> <p>引き続き、会場を移動しまして、自己紹介に進みたいと存じます。</p> <p>机に席札がございますので、恐縮ですが所定の席に移動をお願いいたします。</p> <p>(会場移動)</p>

事務局	<p>それでは、委員の皆様より自己紹介をお願いしたいと思います。河藤委員から飯田委員へと順にお願いいたします。</p> <p>(委員自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今日は、オブザーバーとして、上尾商工会議所 指導課長の栗原様にもご出席いただいておりますので、栗原様からも自己紹介をお願いいたします。</p> <p>(オブザーバー自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、事務局の自己紹介をいたします。</p> <p>(事務局自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、会長及び副会長の選出でございます。</p> <p>本会議の設置要綱第5条第1項の規定により、会長及び副会長の選出にあたっては、「委員の互選により定める」とありますが、特にご意見がなければ、事務局案をご提示したいと思いますのですが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしとの声をいただきましたので、事務局案を申し上げます。</p> <p>「上尾市産業振興ビジョン」の策定段階から深く関わっていただき、また、本会議におきましても、多大なるご協力をいただいておりますことから、引き続きとなりますが、会長には学識経験者の河藤佳彦様、副会長には地域経済団体を代表し、上尾商工会議所 副会頭の飯田裕之様をお願いしたいと考えております。よろしければ拍手をお願いいたします。</p> <p>(拍手)</p> <p>拍手全員のご承認をいただきました。河藤様、飯田様、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>ここで、会長に選任されました、河藤会長よりご挨拶を賜りたいと思います。</p>
会長	<p>(会長挨拶)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、飯田副会長よりご挨拶を賜りたいと思います。</p>
副会長	<p>(副会長挨拶)</p>

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次の次第3に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。事前に送付いたしました資料としましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1「令和6年度提言（案）と令和7年度施策の検討について」 ・資料2「今後のスケジュールと協議事項について」 <p>の2点でございます。</p> <p>新任委員のうち、郵送で資料をお送りさせていただいた方には、上尾市産業振興ビジョンをお送りしております。</p> <p>加えまして、机上の次第のほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上尾市の産業振興に関する提言書 令和5年度 <p>また、関東経済産業局様よりご提供いただきました資料としまして、両面カラー刷りの資料、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の再構築に挑戦する皆様へ 第12回公募 ・中小企業省力化投資補助事業 <p>の2点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員名簿及び席次表 <p>の計5点を配布しております。</p> <p>過不足等ございませんでしょうか。</p> <p>本日、上尾市産業振興ビジョンをお持ちでない方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>それでは、これより第1回上尾市産業振興会議の議題に入ります。</p> <p>本日は、昨年度より検討を進めてきました令和6年度の提言（案）及び令和7年度の施策の検討について報告させていただき、皆様よりご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>そのあと、本会議に係る今後のスケジュール等について、委員の皆様へご案内をさせていただきます。</p> <p>なお、本日の会議でございますが、設置要件第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席がありましたので、有効に成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、規定に基づき河藤会長に議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>3 議題</p> <p>はじめに、本日の議事の正確性を証するため、議事録への署名を委員にお願いしたいと思います。議事録署名人につきましては、名簿順に指名させていただくことになっております。昨年度から過程を踏まえまして、今回は松本猛委員にお願いしたいと思います。松本委員には後日、事務局より会議録を送付いたしますので、内容をご確認のうえ、ご署名をお願いいたします。</p> <p>それでは議題に入りたいと思います。</p> <p>1点目は、令和6年度提言案・令和7年度施策の検討についてです。</p> <p>あらかじめ、初めての参加された方のため補足説明をさせていただきます。</p> <p>本会議では、毎年、市の産業振興に関する提言書というものを8月末までに作成しており、市長に提出しております。なぜ8月かと申しますと、市では9月に予算編成が始まることから、提言の内容を予算編成・予算要求に活かす必</p>

事務局	<p>要があるためです。委員の皆様からご意見をいただき、アイデアとして整理したものを提言書に反映しております。この産業振興会議は何か一つを決定するものではございません。できるだけ委員の皆様のご意見をいただき方向性を示すということが第一の目的ということになります。</p> <p>後ほど事務局から説明があると思いますが、提言書は「中小企業支援」と「地産地消とにぎわいづくり」を2つの柱として皆様で審議してまいります。</p> <p>2点目は、今後のスケジュールと協議事項についてです。</p> <p>この2点の詳細については、事務局からご説明いただき、自由に質疑応答する形で進めたいと考えておりますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、議題(1)「令和6年度提言(案)と令和7年度実施等の検討について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局でございます。</p> <p>それでは、本日配布いたしました「上尾市の産業振興に関する提言書 令和5年度」をご覧ください。先程、会長からご説明いただいた通り、本提言につきましては、8月末を目途に令和6年度の提言内容をまとめてまいります。これは提言内容の実現にあたって、市では9月に翌年度の予算編成を行いますので、このような時期ということになっております。そのため、市長へ提出する提言書の内容は翌年度の市の事業に大きく影響を与えるものとなっております。</p> <p>4ページから5ページにかけて、令和5年度の提言に関する内容が記載されており、提言1と2に基づいて令和6年度に事業を実施しているという状況になっております。例として申し上げますと、提言1につきましては、「事業者の持続的な成長を促すための支援体制の充実」を基に、今年度より新規の施策として、技術の継承と後継者不足への支援を目的に「技能検定受験料補助金」というものを創設しております。</p> <p>また、提言2につきましては「上尾の農業が持つ魅力やポテンシャル」を基に、地産地消に向けた魅力発信を目的に農産物販売設置事業を今年度から開始する予定になっております。こういった形で、提言内容が皆様にも反映されるようになっております。</p> <p>この提言書の作成にあたってスケジュール感についてもご説明いたします。</p> <p>恐れ入りますが、資料2の「今後のスケジュールと協議事項について」をご覧ください。</p> <p>資料の上段から中段にかけて「令和6年度提言書(8月末提出)」の記載がございます。この8月末の提出に向け、本日の第1回会議と次回の第2回会議におきまして、提言内容について検討を進めてまいります。</p>
-----	--

本日はこれまでの検討結果を踏まえ、事務局案として提言書の骨子、具体的政策の方向性をまとめ、改めて委員の皆様にご提示させていただき、ご意見、ご提案をいただきたいと考えています。

それでは、**資料1**の「令和6年度提言（案）と令和7年度施策の検討について」をご覧ください。資料の説明をいたします。

上段左に提言（案）1「事業者の持続的発展と新たなチャレンジへの支援体制の充実」とございますが、今申し上げました「中小企業支援」のテーマをもとにご提示した提言でございます。前回会議から変更はございません。

人材不足や人件費・原材料価格の高騰など、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況であり、事業者の持続的発展を支える支援策が求められております。一方では、企業の社会的責任として求められる取り組みや新たなビジネスチャンスへの支援も求められておりますことから、本提言（案）としたものです。

続きまして、上段右の提言（案）2「就農支援のさらなる充実と中心市街地のにぎわいの創出」でございますが、「地産地消とにぎわいづくり」をテーマとしております。

本市においては、農業従事者の高齢化や後継者不足が進んでおり、新規就農者の定着を支援する施策の展開や、就農希望者を呼び込む環境づくりとして、既存の地場農産物の活用や新たな販路拡大が必要だと考えます。また、中心市街地の活性化のため、市民や観光客の回遊性を高め、にぎわいを創出する施策の展開が求められていることから、本提言（案）としたものです。

なお、こちらの提言（案）は、前回の会議においては「新規就農支援のさらなる充実と中心市街地のにぎわいづくり」としておりましたが、新規就農支援に注力することはもとより、既存農産物の活用など、新規就農に限らず幅広い支援を展開する必要があることから、新規の文字は除いております。

続きまして、今ご説明いたしました各提言（案）をもとに、令和7年度の施策の方向性について、事務局案をご提示いたします。

資料中段になりますが、まず提言（案）1関連としまして、「中小企業を取り巻く経営環境の改善につながる支援体制の充実」でございます。資金繰りや金利の上昇に関する相談が今後増加することが見込まれます。金融機関をはじめ、各関係機関と中小企業サポートセンターとの連携を促進することが求められます。また、各種補助金の活用例や成功事例の紹介など、経営の参考となる情報提供の強化も必要と考えます。

次に、「DX促進、SDGs推進、創業支援施策の継続展開」でございます。人材不足や人件費の高騰に対するDXの導入は有効な手段となります。また、新たな社会課題であるSDGsに対する支援や新たな事業にチャレンジする事業者への支援は継続的に求められると考えます。

3点目として、「GX、カーボンニュートラル推進に対する事業者支援策の展開」でございます。GXやカーボンニュートラルは、新たな社会課題である

と同時に新たなビジネスチャンスでもあります。機運を醸成する事業者支援を展開する必要があると考えます。

続きまして、提言（案）2 関連としまして、「新規就農者の定着支援事業の展開」でございます。市では近年、新規就農者に対する補助金制度や相談体制を整備し支援を拡大しておりますが、新規就農者を呼び込み、定着につなげるためには、市内に留まらず市外の就農希望者に向けた本市の支援制度の周知を強化する必要があると考えます、また、定着するためには販路の拡大に向けた支援策の展開が求められます。

次に「地場農産物の活用」でございますが、こちらは農家との連携やマッチングを推進する施策でございます。

「マッチング事業による他業種連携の拡大」につきましては、今年度実施を予定しております飲食店と農家とのマッチング事業の連携拡大を図る施策でございます。展望といたしましては、市内農産物を活用したい飲食店と生産物の利活用や販路の拡大を希望する農家のリストをもとに、いつでもマッチングを図れるような制度が確立できればと考えております。

また、次の「学校給食と市内農家とのマッチングによる地産地消の推進」でございますが、学校給食における市内農産物の活用を促進するため、学校給食での提供食材と農家とのマッチングを図り、地産地消を促進するとともに、子どもたちの食育に寄与するものです。

最後に、「中心市街地の活性化に向けたにぎわい創出事業の展開」でございます。ARスポットの設置によるスタンプラリー事業や軽トラ・ファーマーズマーケットなど、駅周辺の市街地を中心に、観光客を含め人の回遊性を向上させるため、各産業におけるにぎわい創出イベントを展開するものがございます。

以上が令和7年度施策の方向性の説明となります。下段の議論のポイントに記載しておりますが、提言（案）1 及び2 をもとに事務局案としてご提示した施策の方向性は妥当であるか、また、この他どのような施策が考えられるか、委員の皆様からご意見を頂戴したいと存じます。よろしくお願ひいたします。議題（1）の説明は以上でございます。

会長

8月の提言（案）の内容ということでした。令和7年度の施策の方向性を踏まえて、新年度の予算要求にも臨んでいただきたいと思います。

ただ今の事務局の説明に対して、ご意見・ご質問などございましたらお願いします。

それでは、●●委員からお願いします。

●●委員

これまで工業の立場から色々と発言させていただきましたが、●●製作所というように、会社名が沢山ある中で、この会社は何を作っているのか一般の方にはなかなか見えてきません。農業の方々は作っているものや販売しているものがわかりますが、工業の場合ですとなかなかその会社は何を作っているのか、何をやっているのか、皆様なかなか存じ上げないかと思ひます。

	<p>上尾市の工業が今まで培ってきたものを、年に数回、展示会を工業フェア等のイベントで行っておりますが、一過性のものでありますから、常時工業が目には届くようなスペースができればいいと思います。</p> <p>私としては非常に「工業の見える化」というようなものも大切なのかなと思います。</p> <p>また、工業を超えて様々な産業の方が「工業の見える化」をきっかけとして、こんな技術があればうちでも利用できる、というような横の繋がりも創出できることが理想だと考えています。</p> <p>昨今の経済状況は変化しており、為替の変動やガソリン車からEV車の移行に伴い部品点数が減少するなどありますから、エンジンを作っている工場は今後どうなるのか、簡単に業種を変えるのは難しいなど、色々問題が出てくるのかなと考えております。製造業は海外の取引もあります。円安はどちらかというとなり有利な部分ですが、各国の状況もあるので思ったほど流通には結びついてこないのが現状です。この先も問題はあろうかと思いますが、工業の見える化を形作っていただければ非常に面白いかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>前回は展示スペースを設置してはどうかという話もありました。この会議をしている建物の1階にも展示コーナーはありますが、有効活用できているのかという内容が含まれていました。</p> <p>また、EV車の話がありましたが、既存の業態での新規展開あるいは海外市場への展開を支援していく事が必要かと思えます。</p> <p>それでは、●●委員お願いいたします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>私どもの商業施設では、テナントと営業面談をする中で、テナントが抱えている課題として、人材不足というのが1つ、2つ目は原材料の高騰で商品の値段が上がっているということです。特に商品の値段が上がった中で商品の機能性の説明をする際、良い人材がいなくとも顧客に話ができない、それが悪循環になっているというような話をよく聞きます。ですので、中小企業サポートセンター、人材不足に対応するDX促進補助金、この辺りに力を入れていただきたいということと、先ほど円安の話があり、インバウンドの需要が多い状況でも、上尾市ではそこまで反映されておらず、観光客というのは少ないため、うちの商業施設でもインバウンド対応した取り組みを実施していない状況であります。その辺を含めて観光客を増やすような提言ができればと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>人材不足についてはDXもそうですが、人材のマッチングといったところにまで配慮をして提案をする必要があります。</p> <p>また、インバウンドについては、以前から議論がされていますが、都市型観光を上尾市ではどのように具体化していくのか、観光分野の課題としてあると思えます。</p> <p>それでは●●委員お願いいたします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>金融機関としての立場から色々なお客様と接しておりますが、人材不足等、非常に経営環境が厳しい状況であると認識しております。かつ金融面でお話すると、金利のマイナス金利が解除されるという事になりますと、これはもう</p>

	<p>金利がこれ以上は下がらないというサインでして、いずれゼロ金利への変化する流れとなるのは目に見えています。そのため、一層、コスト体制や実績を求められるのかなと思っています。</p> <p>提言にありますDXやGX等は全てトランスフォーメーションなので、変化が求められるということになります。こういった時代の流れに企業がスムーズに変化・対応できるよう、更なる提言というのが必要なかなと感じています。</p>
<p>会長</p>	<p>地域金融の役割は非常に重要です。</p> <p>中小企業サポートセンターという支援体制がありますが、そういうところとお互いにできるだけ連携を広げていくような、そういった取り組みが必要かなというように思います。</p> <p>それでは、●●委員お願いいたします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>私からは中小企業のDXについてお話しします。実際なかなか取組が進まない、手が回らないという企業が多い中、2024年1月24日に、第1回埼玉DX大賞の最優秀賞の発表というのがありました。そして、上尾の領家にあるスリーク株式会社が最優秀賞を受賞いたしました。今回の取組について、会社に訪問してもらい勉強会に参加した中で、どんな事をやっているのかと思いましたが、社員が自身でプログラミングを学び、2人でゼロから自社開発のオリジナル生産管理システムを作ったということです。非常にコストも安く済んだということ、自社で制作したためカスタマイズがしやすいという事で、社員の意見をそのまま反映させる事ができたということでした。その中でペーパーレス化や生産管理の見える化を進め、人材不足の解消や人件費の削減にもつながったということが非常に参考になりました。外部からこういうシステムを取り入れたのかと思ったら、社内でゼロから作り上げたというところに非常に感銘を受け勉強になったので、この場で発表させていただきました。</p>
<p>会長</p>	<p>先ほど●●委員からのご意見にもありましたが、DXは非常に重要なキーワードです。DX化を進めることによって地域の企業が元気になれば当然金融機関も反映されるため、DX化は大事だという事です。</p> <p>それでは、●●委員お願いします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>初めての参加なので、資料1の言葉が分からない単語を教えてくださいと思います。DX化というのはデジタル化という意味ですか。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、デジタルトランスフォーメーションですね。</p> <p>いわゆるIT化、デジタル化という狭い意味ではなく、それによって様々な革新が働く、広い意味でデジタル技術を使うことによって、色々な社会構造の变革や経営にも変化をもたらすものと理解していただきたいと思います。</p>
<p>●●委員</p>	<p>ありがとうございます。それではGXとはなんですか。</p>

<p>会長</p>	<p>グリーントランスフォーメーションの事を言います。要するに緑や環境に配慮した取り組みをしていくという事です。</p>
<p>●●委員</p>	<p>ARスポットとはなんですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局でございます。ARスポットとは、例えばスマートフォンで何かのモニュメントをカメラで撮影すると、そこにまた違うイラストや景色等が浮か上がるバーチャルシステムの事です。現実と仮想空間を組み合わせて表示するようなイメージです。</p>
<p>●●委員</p>	<p>すごい予算がかかりそうですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>こちらに記載されているARスポットについては、にぎわい作りの一環として検討しているところです。先ほど●●委員からお話がありましたが、商工課を始め、上尾市としてはいろんなイベントを開催しても、一過性に終わってしまい、それが継続的な開催に結びつかないという現状がありました。今申し上げたARスポットを活用し、例えば、神社仏閣をARスポットに設定、飲食店などといったところにARスポットに設けることにより、スタンプラリーに似た機能もありますので、回遊性に繋げていくという意味合いで取り組んでいこうというところで準備を進めております。</p>
<p>●●委員</p>	<p>ありがとうございます。 新規就農者というのは実際にいますか。</p>
<p>事務局（農政課）</p>	<p>事務局でございます。ここ数年ですが、件数は多くないです。 大体、年に1名、もしくは2名ぐらいの方が新規就農者となっております。個人の方以外も事業者として新規就農を上尾市で始められる方が増えているというのが現状です。</p>
<p>●●委員</p>	<p>ありがとうございます。 ●●委員のお話を聞いていてなるほどと思ったのは、製作所がある事を私も全然知らず、ここにこういう製作所があるみたいなマップができるとわかりやすいなと思いました。小学校3年生か4年生では上尾市の勉強をするのですが、教科書には、ささら踊りやブリヂストン工業しか載ってないんです。自転車ができるまでの過程などにブリヂストン工業があがっているのですが、その子達が勉強する時に上尾市全体の製作所のような事を勉強したら面白いだろうし、まちづくりという観点では、小学校の校区だけでもいいから、実際に歩いて色々な事を調べて、歴史や工業を知るという事はとても大事だと感じているので、そういう事ができたらいいなと思いながらお話を聞いていました。それから、上尾市ではインバウンド需要は難しいと思いました。やはり、上尾市のPRがとても大切だと思いますし、いろんな物を工夫してストーリー性をつけて作り上げなければ物語はできないわけで、人を呼びたいのに上尾市の売り出しのストーリーがなければ何にもならないでしょうから、いろんな仕掛けをしていかなければならないと思います。ARスポットを作るにしてもそれが面白くなければ誰もいかないわけで、例えばそれを色々な</p>

<p>会長</p>	<p>SNSなどを活用して知名度を上げてから実施しなければ何も得られないのではないかと思っているので、そういうものを盛り上げるというのはとても大変だなとお話を聞きながら思いました</p> <p>また、DX化は中小企業などもすごく頑張っていると思うのですが、例えば小学校だとITC推進委員の方が来てくれます。先生方もなかなかそういう事は苦手だったりするので推進委員がいるととても助かります。例えば中小企業でなかなかDXが進まない経営者に対して、市、商工課としてDX推進に対する提言とか指導ができるような人がいればとても助かるのではないとここまでの話を聞いて思いました。</p> <p>一つは産業教育ですね。非常に大事だと思います。地域によって例えばオープンファクトリーを入れてとか、総合学習的にまちの産業を挙げるとか、そういう事を考えていければいいなと思います。あとストーリー性についても大事だと思います。やはり新規事業を実施するにあたって、SNS等を活用してプロデュースしていくという事は重要です。</p> <p>DX化の推進については、中小企業サポートセンターに指導員もおられますし、商工課でも補助事業を実施されていますので、これからも重点的に進めていくという事が大切です。</p> <p>それでは、●●委員お願いします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>先ほど、ARスポット設置に関するお話を●●委員がされていましたが、市の職員だけで実施するのではなく、小学生や市内企業を巻き込んでワークショップを開きながらやっていくと市民にも興味が広がっていくと思います。</p> <p>以前、環境政策課で同じようなことをやったことがあるのですが、その時に提案したのは、上尾市の有名な観光地や企業などをクイズ形式にして出題することです。</p> <p>また、先週の土曜日に上尾市内の助産師1人が丸山公園でイベントを企画していたのですが、今はFacebookで出店募集すると1日で35団体ほどが簡単に集まってしまうらしいです。軽トラなど使用した飲食店もおり企業努力を感じたので、そういった事をどんな風に取り上げていくかという事が、企業にとっても大切なのかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、●●委員お願いします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>新規就農者の定着支援事業の展開というところで、先ほど新規就農は年に1、2件というところでしたが、さいたま農協としても新規就農支援を現在取り組んでいるところがございます。各市町村にTACという名称の職員を1名ずつ配置しており、農家さんのお宅に訪問させていただいて、御用聞きを行い、今どういったものが消費者から好まれているかなど、野菜全般のお話をさせていただき、こういった野菜を育てませんかなどのご提案を進めております。なお、毎年、TACを中心とした「アグリセミナー」という新規就農に取り組む方や農業に興味がある方たちを集め、新規就農支援、育てた生産物を販売していただくためのセミナー開催しており、大体年に10名程度の方が参加されております。</p>

<p>会長</p> <p>●●委員</p>	<p>また、「明日の農業の担い手宿」という県の事業がございまして、上尾市では現在受講生が2名おりますが、今後2年間で県の補助を受けながら機械等を買揃え、いずれは自身で農業をしっかり行っただうで収益を得られるような体制支援を展開させていただいております。ただ、皆様のご存じの通り、育てた野菜がどうしても安くしか売れず、しかし資材等の価格は騰がっているというような状況のなかで、さいたま農協として試行錯誤しているところであります。生産物の価格に転嫁され、高く販売できるようになってくれば、新規就農者にも目を向けていただけ、農業をやってみたいなって方は増えてくるのではないかなというふうに感じているところでございます。</p> <p>その他も「地場農産物の活用」というところで、さいたま農協として、農業振興計画というものを現在策定しており、今年度から市内の中学校給食センターにかぼちゃを供給しようと考えて、生産者に声を掛け、夏から秋に掛け収穫できるような品種の選定を行い、今後、実施をしていく状況でございます。まずは一度かぼちゃで始めてみて、その他にもこういったものが作れるよ、給食に出してもらえよ、というような話を学校や給食センターとしながら、品目をどんどん増やしていければというところで取組を始めたところでございます。</p> <p>また、「中心市街地の活性化に向けたにぎわい創出事業の展開」では、現在、大石地区では「上尾ぐるめ米ランド」という食売所をさいたま農協の方で運営をしております。地元農家の野菜や加工品を中心に販売をしております、3年が経過しましたが、徐々に定着してきている状況です。やはり自身が作った物が売れて嬉しい、というような声が年々増えてきております。後継者不足が今後も懸念される場所ではございますが、市と協力しながら、新規就農者を育てていければと考えております。</p> <p>余談となりますが、現在、近隣の市町村では道の駅を作っており、今後開業するような情報をいただいております。桶川市では令和7年、熊谷市では令和9年、鴻巣市では令和10年に開業ということでお話を聞いておりますので、参考にしていただければと思います。</p> <p>さいたま農協でも、セミナーの開催など様々な取り組みをされているということが改めて確認させていただきました。なお、学校給食との連携についても、こういった取り組みのサポートをしていくことは必要だと思っております。</p> <p>また、近隣市町村の道の駅の開業についてですが、これは販売スポットの1つとして確保していくということかなと思います。上尾市では例えば駅前など良いスポットがたくさんありますので、直売所として活用するなど、色々な可能性があるんじゃないかと思いましたが、とにかくマーケットをしっかりと確保することは、付加価値などの価格を高めることに繋がると思うので大事なことです。</p> <p>それでは、●●委員お願いします。</p> <p>初めての会議参加になりますが、私が感じたことは新規就農者が少ないということです。また、高齢化が進み、跡継ぎがないということも悩みの一つとなっています。</p> <p>上尾市農業女性連絡協議会では、大石地区14名、上平地区7名で構成されており、なかなか全員が集まることも少なくなっている。それに合わせて</p>
-----------------------	---

<p>会長</p> <p>●●委員</p> <p>会長</p>	<p>「あげお産業祭」のお饅頭作りなどは大変な作業であり、いかにして人員を確保・勧誘するかを考えております。委員の皆様のご意見を聞きながら参考にさせていただきたいと思っております。</p> <p>この会議で議論を続けていますが、新規就農者の確保はとても大事な事です。そして、新規就農者の確保と合わせて、後継者不足をどのようにサポートするのが必要になってくるのかということです。</p> <p>それでは、●●委員お願いします。</p> <p>私は会計事務所を営んでおりますので、市内を中心とした中小企業の決算等を見させていただき仕事を日々行っております。そのなかで新型コロナウイルスが5類に移行して、経済が動き出し、個々の会社の決算等を見てみると、一時の悪い数字から脱却して売上が伸びている事が数字から伺えると日々思っております。</p> <p>しかし、楽になったのかというと決してそうではなく、人件費や材料・資源、外注加工費等々が圧迫しているので、なかなか利益には結びつかないと思っております。</p> <p>やはり、中小・零細企業には価格決定権が弱く、1次、2次、3次下請け等々と仕入れあるいは外注費のコスト面の上昇に苦しめられ、高騰した分を売上にパーセンテージとして転嫁できれば、数字的には利益を維持することはできますが、コストが上がっているのに発注元に対してなかなか価格交渉が難しいというのが中小・零細企業の悩みだと思います。●●委員から農産物を高く販売したいとお話がありましたが、やはり高く売ればそれだけ数字はついてきますので、中小企業サポートセンターなどでは、下請け企業の価格決定あるいは価格転嫁等の何らかの形で支援できるような行政施策が必要だと思います。</p> <p>また、いろんな補助金や税の優遇等が国・県・市と色々なレベルで用意がありますが、要件を見てみると経営革新等支援機関による経営力向上計画が作られていて、それに基づいて申請を行えば税の優遇が受けられるとか、あるいは補助金が受けられるというような条件付きのものが少なくないのかなと思います。ですので、中小企業サポートセンターを中心にして補助金や税の優遇等がもっと受けられ、かつ事業計画等の作成を後押しできるような体制を更に強めていただければいいと思います。</p> <p>また、違う観点からですが、まちづくりや上尾の賑わい等、色々なお話がありましたが、例えば小学校の子どもたちも交えて、子どもたちはどういうふうに思っており、こういうものがあればうれしいなど、是非、子どもの意見を交えた会議体も構成してもいいのかなと思います。市内にも物流センター等ができてきておりますが、我々市民からすると接点がないと感じます。例えば子供たちには工場内の見学やトラックの乗降体験など、企業も上尾の産業に取り込む企画も考えてもいいかなと思いました。</p> <p>価格転嫁の問題は、国の公正取引委員会や経済産業省も取引における適正化について、かなり厳しい規制体制、監視をしていますので、そこに期待するところがあると思います。なお、付加価値化ということの部分においては、様々な供給面あるいは事業でサポートできる場所があると思います。</p>
---------------------------------	--

●●委員

助成支援についてですが、非常に大切な事です。今後の中小企業支援では、ご意見いただいた内容を反映すると思います。

また、子供の意見も非常に大事です。産業分野ということではありませんが、別の自治体では計画を作る際に子供達の意見を聞くとか、ワークショップを実施するなどしています。工場見学については、オープンファクトリーのよ
うなイベントができるのであれば、良いと思います。

それでは、●●委員お願いします。

提言(案)1に関連して発言をいたします。令和7年度の施策の方向性ということでテーマ決めをしていただいております「事業者の持続的発展と新たなチャレンジへの支援体制の充実」というテーマ並びに記載されている課題については賛同させていただきます。県全体の製造業の課題もほぼ一致しておりますので問題ないかなと思います。それに対して金利上昇あるいは人手不足といったような取り組みに対するDXや省力化といった支援については、公社の方でも実施しております。先ほどのスリーケ株式会社が大賞をとったDX大賞ですが、実は公社が主催をしており、1月にさいたまスーパーアリーナで開催いたしました。

また、上尾市内にある株式会社共栄製作所ですけれども、公社でDX支援を受けていただいております。上尾商工会議所のなかにも中小企業サポートセンターという組織がございますが、公社でも100名を超す専門家の方々がございますのでサポートセンターと連携しながら色々と市内企業の支援ができると考えております。

また、●●委員がおっしゃった、EV化への取り組みについては県全体の課題でございまして、県の産業では食品が第1位になっておりますが、それまでは自動車が1位でございました。埼玉県内には5,000社程の自動車部品を営んでいる企業がございます。経済産業省の調べですと、そのなかでもエンジン部品を営んでいる比率が埼玉県は特に高い地域と言われており、経済産業省の力を借り「味方プロジェクト」というEV化への対応についての支援を行っており、県内全域のガソリンエンジンからEV化への移転、あとは航空機や医療、ロボットといったような産業にも業態転換したいという企業への支援というのともあわせて行っております。

令和8年に鶴ヶ島市内に県でロボティクスセンターというセンターが完成します。それに向けて入居する企業・大学を現在募集しており、県内の省力化について取り組むというのがありますので、ご参加いただければなというふうに考えております。

また、カーボンニュートラルについても重要な課題でございまして、公社のなかにカーボンニュートラルを支援する部署がございます。非常に取り組みが幅広く、スコープ3を実施するのは大変だと思いますので、まずはスコープ1、2といった自社で可能なカーボンニュートラル、電気の省力化、電気量をどのように減少させるのかということですが、県や国で省エネ診断をしている制度がございますので、まずはそこから診断を受けて電気料を減らすといったようなところから取り組んでいただくのがいいかなと考えております。

この提言に関しまして賛同いたしますとともに公社としてご協力できる政策を持っておりますので、是非、ご活用いただければと思います。

<p>会長</p>	<p>公社では広域の政策手段が非常に多様にあり、手厚い内容となっています。上尾市は地域外の政策支援をいかに取り組んでいくのかということになります。それを地元の企業にどのように取り組んで反映するのかということが、中小企業サポートセンターとしても大きな課題であり、非常に大きな力になると思いますので大事なお話でした。</p> <p>それでは、●●委員お願いします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>事務局より示されました提言1、2の内容ですが、まさに国としても取り組んでいかなければならない内容が盛り込まれておりますので、賛同とさせていただきます。</p> <p>その上で、事業者の持続可能性を観点として、価格転嫁のフレーズを一つ主張させていただければと思います。</p> <p>本日、委員の皆様にお配りさせていただいたチラシですが、事業の再構築や新たな業態へのチャレンジという中小企業を支援するための事業再構築補助金や省力化補助金などがございます。</p> <p>新しい設備投資をしていく際には色々とお金が必要になると思いますので、そういったための資金支援の枠組みはたくさんあるのですが、探すのが大変だと思います。何かあればお気軽に経済産業省にお問い合わせいただければ、ご案内をさせていただきます。</p> <p>また、中小企業サポートセンターや上尾市、商工会議所とも連携させていただきながら、市内事業者へのアドバイスなどお手伝いさせていただきたいなと思っております。</p> <p>最近のトレンドでは、賃上げ対応をしていただける事業者には、より良い補助率を適用させていただく、つまり自己負担分を減らす支援もしております。世の中では進んで賃上げをしているという話も出ておりますが、中小企業においては人材確保が困難、高齢化の観点からしょうがなく賃上げをしているというお話を耳にする機会が多いです。人件費や原材料費の高騰をしっかりと価格転嫁していけるかというの、国が経済システムを回していけるかどうかなので、これは生命線に近いと思っております。</p> <p>埼玉県庁では、全国に先駆けて賃上げや価格転嫁の取り組みを行っており、全国のモデル的な取組とまで言われるようになっております。</p> <p>提言内容について一つ意見を申し上げますと、事業者の持続性・方向性のなかに価格転嫁についてブレイクダウンしていくならば、企業の競争力の本質について再発見するような活動などを、この提言のベースに置いていただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>1つ目は価格転嫁の話でした。市町村でできることはかなり限定されているという事実があります。しかし、そのうえで価格を上げるためにはイノベーションをして、価格を上げることができるような技術力や成果を出すためのサポートをする必要があります。</p> <p>2つ目は国にはたくさんの制度があり、企業ニーズを掬い上げ、必要としている企業につなげるという意味では、中小企業サポートセンターは重要な役割を担っているというふうに考えられます。国の方で実施されているような補助金等のニーズを市の施策含めて、サポートできる機関への確に繋げてい</p>

<p>●●委員</p>	<p>く、そういった仕組みを確立・構築していくことが求められるという内容でした。</p> <p>それでは、●●委員お願いします。</p> <p>2年前まで東武地域振興センターの所長をしており、様々な企業を見させていただいたこともあります。</p> <p>D Xについてですが、小さな町工場でも取り組まれており、大学院まで出られた若い後継者が創業2代目として、パートや高齢の従業員にもデバイスを配布し、全てトレースを行うことで工程管理ができ、製品を一気に作り上げるという例が出てきており、D Xに取り組んでいる中小企業としない企業でかなり差が出てくると感じましたので、そういったところをキャッチアップし支援していくということが重要ななと思いました。</p> <p>もう一つは企業のなかで人材という点があると思います。女性の雇用問題についてですが、男性の経営者からすると女性の生理休暇等の部分で配慮がなかなかしづらい、どういったところに気をつけてあげればいいのか分からない面があったりするので、それをカバーしてあげる。科学的に女性特有の健康のマイナスをカバーする考え方があります。女性の辛い部分をフォローすることで生産性が上がり、全体的に企業の実産性に反映させるような取り組みを進めている企業があります。</p> <p>また、農業関係でいいますと、先ほど、跡継ぎ等のお話があったかと思いますが、農業の平均年齢は70歳近いです。高齢化と農業の関係で言うと、高齢化だから農業が衰退するというわけではなく、儲からないから後継者がいないという話です。地産地消も良いとは思いますが、いかに高付加価値で売れるのかということも考えていく必要があると思います。</p> <p>また、農業のD X化というのも非常に重要だと思いますので、生産工程のコストダウンについてという支援もあっていいと思います。</p> <p>県からの情報提供になりますが、令和9年に市内水上公園跡地にスポーツ科学拠点という施設の開設を発表しました。拠点内には5,000人規模のメインアリーナを作る予定と聞いております。そうなりますと、今後プロを含めた様々なコンテンツが増えます。スポーツビジネスあるいはエンターテインメントなどが考えられますので、令和7、8年というわけではありませんが、令和9年を見据えて、今後は県とどういったコラボができるか中心市街地の活性化を含めて視野に入れていく必要があるんじゃないかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>作業の実産性の向上も含めてD Xは非常に大事ということです。あと、女性の働く環境整備の重要性や農業の儲かる方法について、上尾市は商品作物の都市型農業ですので、実はチャンスがたくさん隠れていると思います。</p> <p>それでは、オブザーバーお願いします。</p>
<p>オブザーバー</p>	<p>提言(案)1 関連ということで中小企業を取り巻く経営環境の箇所になりますが、以前、金融機関に訪問した際、とある医療機関から看護師、歯科衛生士の超過勤務を減らしたいということで、働き方改革推進支援助成金を使いたいと伺いました。その後、先生と面会させていただき内容を伺ったのですが、歯石をブラシで取るというのがこれまでの基本的な方法としてありましたが、実はブラシの付いている器具のメンテナンスにはかなりの時間を要す</p>

	<p>るため、その時間が無くなれば超過勤務も減らせるという事が最初の相談でした。対して3種類の働き方改革関連の助成金があり、特に医療機関、運送業、建設業は今年4月から新たにコースができましたので、どのコースがいいのか下調べした上で、中小企業サポートセンターに登録されてる社会保険労務士の先生と一緒に作成支援をさせていただき、採択されるように持っていくということになりました。</p> <p>また、創業関係では市役所と共同事業になりますが、特定創業支援等事業計画に該当するもので、6月から4回シリーズで「本気の創業セミナー」を開催し、それを受講していただくと、20万円の補助を受けられる創業応援補助金の要件の一つを満たせるというものがあります。このような政策支援も市役所に準備していただいていますので、事業者やこれから開業しようとする方にどのように周知をしていくのか、連携が強い金融機関もあればそうでない金融機関もありますので、金融機関を対象に中小企業サポートセンターの取り組みを周知する説明会を過去に何回かやっておりますが、そういったものは定期的に開催した方がよろしいのかなと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>事例を通して具体的な中小企業サポートセンターの機能をご紹介いただきました。</p> <p>それでは、●●委員お願いします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>中小企業への予算は行政としてどの程度まで補助制度として活用ができるのか、中小企業の皆様はお忙しい中で十分な時間を割くことができないので、サポートセンターと連携してどこまでできるか、これが一番重要です。</p> <p>また、DX促進ですが、先程お話ありましたけれども、スリーク株式会社の方で成功した事例がありますが、先程も申し上げましたが中小企業で忙しい人達を対象にどのように浸透させていくのが鍵になるかなと思います。補助制度をどのように活用するのか等あわせて検討していく必要があるかなと思います。</p> <p>また、提言(案)2の農業者についてですが、新規就農者にこだわる理由を申し上げますと、先ほど申し上げました通り後継者がいないというところがあります。農業振興地域は農業をやらなければいけないため転売できません。そのような状況の中でどうやって進めていくと、後継者がいないので国は施策として農地を集団化させて、それを進めていくという考え方なんです。そこに賛同するように、市の方も遊休農地の解消に向けて事業を展開させていただいております。</p> <p>最後に中心市街地活性化につきましては、ARスポットと先ほどありましたが、実は上尾市観光協会でアップというワオキツネザルをモチーフにした新しいキャラクターがおり、その宣伝を行いつつスタンプラリーの中に入れて進めていこうとしております。これは中小企業に関連していろいろ商店街を活性化・回遊させる事業の一つですので、先ほどご意見をいただいた各企業を回るというのは、一つ実施してみるのもありだと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、最後に副会長お願いします。</p>

副会長	<p>委員の皆様には、大変貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございます。概ね皆様からは提言の内容についてご了承いただけたということで、こちらの内容で進めていきたいと思っております。ただ、色々いただいたご意見等は反映してお示ししたいというふうに考えております。</p> <p>私は、これまで工業に関係した仕事が多かったので、今日の会議でも工業に関する内容が出てきたことは大変ありがたかったです。工業だけでなく、全体的な話としてはDXやGXというのは中小企業サポートセンターにうまく混ぜ込み、皆様が自由に相談できるようなアナウンスをする必要があると思っております。今回の提言を掲げながら情報をもっと拡散していく、そんな環境作りも合わせて進めていただければというふうに感じております。</p>
会長	<p>それでは、議題（２）今後のスケジュールと協議事項について、事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>恐れ入りますが、資料2をご覧ください。今後のスケジュールでございますが、上段に○で記載しております2点を中心となります。</p> <p>1点目は、先ほどの議題1にて申しあげました提言書の提出に向けた施策の検討でございます。次回、7月に予定しております第2回会議におきまして、本日協議いたしました内容をもとに、「上尾市の産業振興に関する提言書（案）令和6年度」をご提示いたします。提言書（案）の内容につきましてご確認及びご意見をいただき、8月末の市長への提出を予定しております。</p> <p>11月に予定している第3回会議におきましては、翌々年度となる令和7年度提言書に向けた方向性の検討、また、令和7年2月に予定している第4回会議では提言書のアウトラインの作成に進んでまいります。</p> <p>2点目は、次期上尾市産業振興ビジョンに関する協議でございます。</p> <p>始めに、産業振興ビジョンについて概要をご説明いたします。恐れ入りますが、あらためて「上尾市の産業振興に関する提言書 令和5年度」をご覧ください。</p> <p>2ページをお願いします。産業振興ビジョンの趣旨でございます。</p> <p>本市の「産業振興」の指針である上尾市産業振興ビジョンは、市の最上位計画であります「第5次上尾市総合計画」に掲げました、「たくましい都市活づくり」の実現に向け、平成26年3月に策定いたしました。</p> <p>ビジョンでは、「農業・商業・工業・観光」をはじめ、それに関連する様々な分野を産業と位置付け、おおむね10年間を目途として、3ページに記載されておりますとおり、市内産業振興に関する将来像や基本方針、進むべき方向性が示されております。</p> <p>特徴といたしましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンの実現に向けた推進体制の構築に重点を置き、2ページ下段の「図1 推進体制の組織図」の左側になりますが、本会議体であります「上尾市産業振興会議」を設置していること

- ・また、産業振興に関わる主体である市や事業者、関係団体の役割を示していること
- ・そして、社会情勢や国・県・産業支援機関などの施策動向の変化に柔軟に対応していく という点が挙げられます。

本ビジョンは、本市の産業振興の将来像と方向性を定め、それらに基づき、地域経済の安定化や産業競争力の強化、新たなまちの魅力の創出などを図ることを目的としております。

次に、本ビジョンの改定スケジュールについてご説明いたします。
恐れ入りますが、[資料2](#)にお戻りください。

7月に予定しております第2回会議以降から次期ビジョンに関する検討事項の協議を順次進めてまいります。昨年度は現行ビジョンの評価・検証を実施し、本市の産業における課題の整理と計画期間や推進体制の大枠について協議いたしました。今年度はより具体的な長期的な計画の骨子について協議を進めてまいりたいと考えております。

資料下段の「上尾市産業振興ビジョン改定スケジュール」をご覧ください。

本年度は、庁内関係部署による作業部会も組織し、本会議と並行し協議を進めてまいります。また、第3回会議より、委員として公募による市民が協議に加わる予定でございます。そのほか、事業者アンケートやヒアリングの実施、視察研修も実施する予定でございます。本年度中に基本方針を決定したいと考えております。

令和7年度は、ビジョンの素案の検討・協議・調整を進め、案が固まり次第、市民に広く意見を伺うパブリックコメントを実施いたします。最終的に令和8年3月に第2次上尾市産業振興ビジョンが完成することとなります。

以上が、主なスケジュールの説明となります。

委員の皆様には2年の長期に渡りご協力を賜ります。何卒ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

議題（2）「今後のスケジュールと協議事項」について、説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

ありがとうございます。

一部内容を補足しますと、今回実施している産業振興会議と合わせて、私含めた委員の皆様で産業振興ビジョンの策定を行います。ビジョンの計画期間は概ね10年となっており、実は既に10年が経過しています。なぜ期間が経過しているのかと言うと、市の総合計画との整合性を維持するために、総合計画の策定期間に合わせるということで遅らせています。その計画策定の作業を皆様にはご協力をお願いしたいということです。専門的な部分については事務局の方で作業をしていただきますが、既に前年度の産業振興会議での委員意見や今後の市民からの意見を踏まえながら進めていきます。そのため、産業振興会議とビジョンの策定で二つの作業が重なることとなりますので、ご負担をお掛けしますがよろしくお願いいたします。

会長	<p>それでは、今ご説明いただいた内容について自由意見・質問ということで、委員の皆さま何かありますでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p>
会長	<p>それでは、議題（３）「その他」ですが、事務局より何かありますか。</p>
事務局	<p>次回第２回会議の予定でございますが、現在、７月２４日水曜日の１０時という形で準備を進めていきたいと考えております。改めて委員の皆様につきましてはご案内させていただきますので、ご承知いただければと思います。</p>
●●委員	<p>一点質問よろしいでしょうか。今後アンケートを実施したいと話でしたが、このアンケート内容については事前に委員に教えていただくことはできるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今後実施しますアンケートについては、盛り込みたい内容というのを７月の第２回会議の際にご提示し、委員の皆様からご意見をいただこうと思っております。それを踏まえ、事業者等を対象にしたヒアリングもしくはアンケートを実施する、ということで予定しております。</p>
会長	<p>他に皆様からも何かありますか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>以上で議事を終了いたします。 進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 それでは、最後になりますが、副会長より閉会のご挨拶をお願いいたします。</p>
副会長	<p>(閉会の挨拶)</p>